

第1話

完璧に見える男の、 飾らない素顔

沖縄を、
前に。

- 古謝げんた、42歳。
- 那覇市首里・石嶺町生まれ。
- 東京大学薬学部を卒業後、総務省へ。
- 岡山県、長崎県、内閣官房、復興庁、民間。
- そして前 那覇市副市長。

……完璧すぎん？

でもね、
ほんとのげんたさんは、
意外と親しみやすい
わけさ～

まず、お酒が
苦手です。

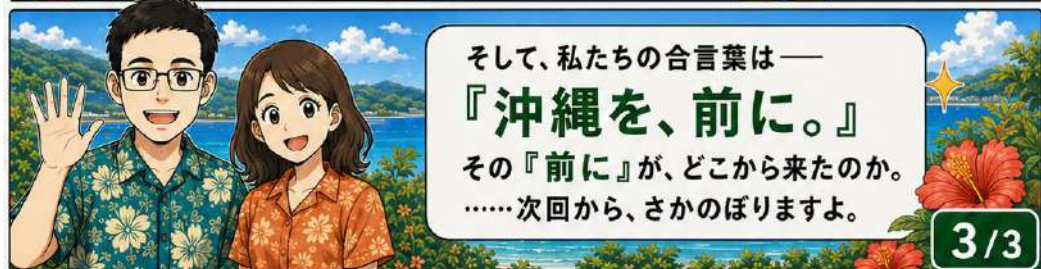
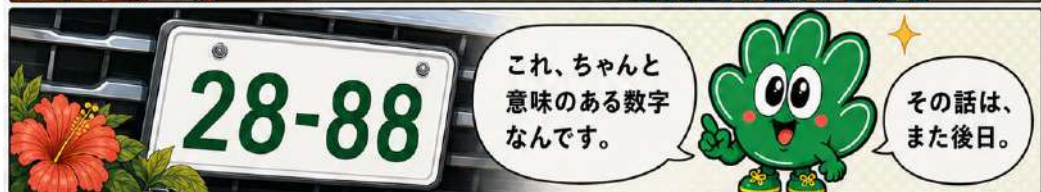
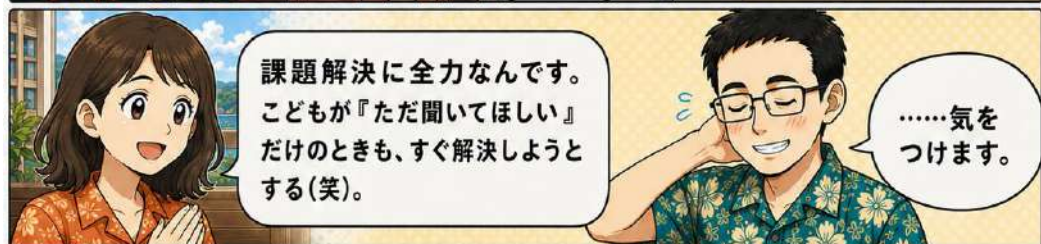
すぐ頭が
痛くなるので、
宴会では
さんぴん茶。

沖縄の宴会で、
さんぴん茶一筋！

意外な一面、まだまだあるよ～

1/3





第2話

沖縄を、前に。

首里の本好き少年— 「帰りたい」が聞こえた日

政治を目指した原点は、友人のひと言でした。



首里・石嶺町。
本を読むのが大好きな少年でした。



父は宮古島出身。本家は古謝そば。
母は広島出身。年越しそばは故郷の味。



昭和薬科大学附属高校で
は野球部。
泥だらけで白球を追い、
勉強にも全力。



いまでも毎年、
母校の応援へ。

昭和薬科

文武
両道!



1/3



東京大学へ
進学すると、
沖縄県人会を
立ち上げた。



学園祭では、
仲間たちとエイサーを
踊った。東京のまん中で、
太鼓の音が響いた。



県人会で同世代と
話していると、
何度も同じ声を聞いた。

ほんとに沖縄に帰りたい。
でも、帰って仕事があるのかな。
家族を養えるのかな。



沖縄に残った友人の中にも、
季節ごとに愛知の工場へ
働きに出る人がいた。



すごく、
もったいないなと
思ったんですね。



次のページへ → 『この環境をつくる側って、誰なんだろう。』

2/3



第3話

47人の知事を 調べた大学生

東大から総務省へ、逆算の進路

げんたさん、
そこまで調べたの～!?

大学時代。
げんたは本気で
県政を目指し始めました。

地方自治論
行政学
憲法

でも就活で
『沖縄県知事募集』は、
ありません。

求人情報

さて、
どうする？

そこで調べたのが、
当時の47都道府県知事の経歴。

2006年ごろの調査
47人中15人が
総務省（旧自治省）出身

都道府県知事
名簿・経歴集

知事
プロフィール
データ集

1/3

知事は
政治家であり、
行政組織の
トップでもある。

国	国の制度づくり
地方	地域の課題解決
制度	仕組みをつくる
予算	財源を動かす



データで見る知事の経歴（2006年ごろ）

2006年ごろの調査では、
自治省系15人、通産省系9人。
ほかにも各省庁出身者がいました。

自治省系
15人

通産省系
9人

その他の
省庁出身者

※出典：日本経済新聞（2006年10月17日）を基に作成



国の制度も、
地方の現場も
学べる道へ進もう。

国の制度
を知る

地方の現場
を知る

就活前に
全国の知事の
経歴分析……
やっぱりちょっと
変わってる！

知事の経歴分析メモ

自治省系出身 15人
通産省系出身 9人
その他の省庁出身 約15人

やっぱりちょっと
変わってる！

都道府県知事
経歴データ集



2/3

げんたは
総務省へ進んだ。



地方と国、それぞれの現場で経験を積んだ。

岡山



地域課題の解決に向け、
住民や自治体と対話。

長崎



文化や歴史に触れながら、
行政の基盤を学ぶ。

内閣官房



国全体の政策立案に
関わり、視野を広げる。

復興庁



被災地の復興を支え、
未来づくりに携わる。

長崎県庁では
5年間、
課長を務めた。



そこで出会ったのが、
「高田 勇」さんの存在だった。
人を想う力と、県を動かす力で、多くの人から
信頼された、長崎の誇りある元知事。



決断する力と、
包み込む心。
リーダーには、
その両方が要る。

そして2022年。約20年前の思いを胸に沖縄へ。
——このときは、まだ単身だった。



ここから、
げんた人生
最大級の
『悔しい日』が
やってくる。

第4話

2888票の涙—— 終われない理由

沖縄から、日本の未来をつくる挑戦

2022年。

参議院議員選挙に挑戦。
まだコロナ禍で、
イベントも少なかった。



単身で沖縄に戻り、
実家から
約4か月走った。



結果は

27万1347票。

差は **2888票。**

開票結果

あと、もう少し
だった…!



負けた瞬間は、
「ああ、終わったな」
と思いました。



げんたさんは、
本当にがんばったよ。
その想いは、
ちゃんと届いてるよ。



1/3



落選後、
げんたは家族を
沖縄に呼び寄せた。

次の選挙までは、
まだ考えていなかった。



沖縄でしっかり
頑張る。
そのために経験を
積んできたん
だから。



その後に買った中古車。
ナンバーは『28-88』。



悔しさを
忘れないための、
自分への戒めです。



2888は
『負けた数字』ではなく、
もう一度立ち上がった数字になった。



次回 第5話 恩返しの副市長時代——現場で動かす

3/3

第5話

恩返し of 副市長時代—— 現場で動かす



参院選のあと、
沖縄のベンチャー企業で
働いていた。

プレゼン構成メモ

- ・課題
- ・解決策
- ・市場性
- ・今後の展望

そこへ突然、
那覇市副市長の
話がある。

ちょうど
プレゼン資料を
作っていて。
「あ、プレゼン
どうしよう！」って
(笑)。



いちばん
迷惑を
かけたのは？

ベンチャーの
社長です。
ちゃんと
謝りました。

Okinawa
Innovation
Base

2022年12月、
副市長就任。

那覇市役所





副市長として
学んだのは、
アイデアを言うことより、
どう実行するかでした。



役所内外をつなぐ



市役所の外の知恵や力を
積極的に取り入れます。

担当部署をつなぐ



縦割りをなくし、情報と
課題を共有します。

地域の声を聞く



現場へ足を運び、声を
施策に反映します。

企業・団体とも連携する



企業や団体の力を借りて、
まちの未来を動かします。



で、この
3年2か月。
じつは“通信簿”が
あるんです。



つけたのは—
当時の上司。



次回 第6話

上司の通信簿——43億円と、5000人

3/3

第6話

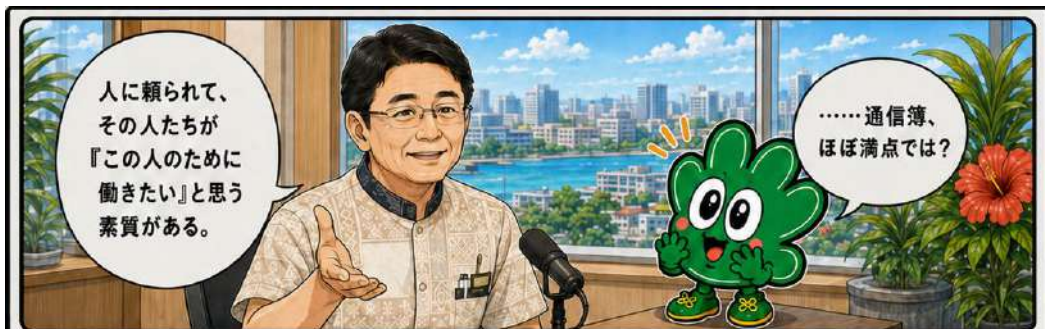
沖縄を、前に。

上司の通信簿—— 43億円と、5000人

対談企画：市政の舞台裏を語る







次回 **第7話** 41市町村をめぐる旅——聞くには体力もいる

第7話

41市町村で聞いた現場の声

41市町村をめぐる旅

≡ 聞くには、体力もいる ≡



副市長を
退任したあと、
げんたは沖縄県内
41市町村を
回り始めた。



本島北部から
南部へ。
宮古・八重山など、
離島へ、集落へ。

資材も燃料も
上がってよ。
作っても、もうけが
残らんわけさ。



船を出すほど、
赤字になる
日もあるさ。



島には高校がなく、
15歳で親元を
離れるんです。



場所が変われば、
困りごと**も可能性も**変わる。



1/3

離島の交通は、暮らしの命綱

離島では、
天候だけでなく、
機材トラブルで
行けない日も、
帰れない日も
ありました。



飛行機や船は、
旅行の足だけではありません。
人や生活物資を運び、
島で暮らし続けるための
命綱です。



航空機や船舶を
計画的に更新し、
島の生活路線を
守る。



交通を守るだけでは
十分ではありません。
島ごとに稼げる産業を育て、
次の担い手をつくる。



「聞く力」だけではない。
「聞きに行く脚力」もあります！



2/3



NAHAマラソン
2023年・2025年完走

41市町村の声を、3つの柱へ

41市町村を回ったのは、
数を誇るためでは
ありません。

その土地へ行かなければ、
聞けない声があるからです。



41市町村で
聞いた声を整理すると、
沖縄の未来に必要な
3つの柱が
見えてきました。

41市町村で聞いた声

- 子どもたちの未来
- 自然や文化
- 新しい挑戦
- 人と人のつながり

まもる

命・暮らし・文化

ひらく

可能性・産業・挑戦

つなぐ

人・地域・未来

まもる・ひらく・つなぐ

ここからは、
その中身へ！



この3つが、
沖縄の未来を
動かすカギだよ！

次回

第8話

まもる

沖縄の自然・文化・暮らしを、
次の世代へ。

3/3

第8話

沖縄の未来をつくる三つの柱

まもる

沖縄の自然・文化・暮らしを、
次の世代へ。



一つ目の柱は、
『沖縄をまもる』。

まもるのは、暮らし、
命と健康、子どもたちの未来。
そして、沖縄の文化と誇りです。

物価が上がり、
所得が
追いつかなければ、
暮らしは
苦しくなる。



暮らしを支える。
同時に、働く人と
企業の『稼ぐ力』も
高める。



大切なものを守り、次の世代へ。



暮らし



命と健康



子どもたちの未来



沖縄の文化と誇り

1/3

子育てを、切れ目なく支える

妊娠・出産



乳幼児期



保育・幼児教育



学校



放課後



妊娠・出産から放課後まで、切れ目なく支える。

給食費・保育料・教育費の負担を軽くし、家計にゆとりを。

給食費



保育料



教育費



保育士不足で、受け入れられない現場がある。



保育士の処遇と働き方を改善し、続けられる職場へ。

- ☒  給与・手当の改善
- ☒  休暇を取れる代替要員
- ☒  ICTで書類負担を軽減
- ☒  研修・復職支援



子育てを支える人も、支える。



2/3

命・居場所・平和を、次の世代へ

沖縄を築いた先輩方へ



住み慣れた地域で、
健康に暮らし続けられるように。

健診

運動

食事

フレイル予防

家でも学校でもない、
安心できる『居場所』を地域に広げる。



食事

学習

相談

沖縄戦の記憶と教訓を、次の世代へ。
平和を願う『沖縄のこころ』を発信する。



守るって、
立ち止まること
じゃないんだね。



大切なものを
未来へ残すために、
変えるべきところは変える。
それが『まもる』です。

守るために、変える。

次回

第9話

ひらく

長崎でエイサーを見た日

3/3

第9話

ひらく—— 41市町村で見つけた、ワクワクの種

若者が『ここで挑戦したい』と思える希望を、沖縄の各地で見つけた。

41市町村を回ると、
地域ごとに宝がある。

例えば、黒島にも、
コザにも、
未来の種がある。

黒島畜産 | 小さな島に、大きな畜産の力。

黒島

人口約220人に対して、
牛3000頭以上。

コザのスタートアップ商店街 | 商店街から、スタートアップの挑戦が生まれる。

挑戦が
未来をつくる

KOZA
から、世界へ

地域の人の想いと、
挑戦する若者の力が
つながって、
未来がひらかれていく！

ワクワクの種、
見つけた！

地域の宝は、もう動き始めている。

1/3

やんばるの恵みと、OIST発ベンチャー

地域の資源と、研究の力。どちらも沖縄の未来をひらく。

やんばるの
農産物は、
育てるだけでなく、
加工・販売・
ブランド化で
仕事になる。



OIST発
ベンチャーが、
沖縄から
世界へ挑戦している。



研究が、
起業と雇用に
つながる。



農業も、
研究も、
沖縄の
可能性だ。



種を育てれば、
仕事に
なるんだね！

挑戦の芽を、産業の力に変える。

2/3

第9話

ひらく——未来は、地域から生まれる

若い世代が、『ここで挑戦したい』と思える沖縄へ。

クリエイター

農業

私がひらきたいのは、
地域の宝と人の挑戦を、
仕事と希望に変えること。

学生

『ここで挑戦したい』
と思える沖縄を、
もっと増やしたい。

若い世代が、
未来を選べる島へ。

研究者

起業家

ワクワクの種、
ちゃんと
育てよう！

地域の宝と人の挑戦を、**仕事と希望**に変える。

次回

第10話

聞いて、まとめて、沖縄をつなぐ

3/3

第10話

つなぐ—— 10年、開かれていない会議がある

聞く人から、声をまとめて動かす人へ。

3つ目は
『沖縄をつなぐ』。

私は、
ものすごいアイデアで
ガンガン引っ張るタイプ
ではありません。

いろんな声を
集めて、
政策にまとめて、
実現まで
マネジメントする。
そういうタイプです。

聞く→
まとめる→
動かす、
ですね。

派手な
カリスマより、
現場の声を
つなぐ力。

1/3

第10話

沖縄の声を、一つにして届ける

バラバラではなく、沖縄全体の力で国を動かす。

たとえば
『沖縄政策協議会』。
国の大臣と沖縄県知事が、
沖縄の政策を
話し合う場。

国（東京）

沖縄県

それが、
10年近く
開かれて
いない。

10年近く
未開催

県と市町村が、
別々に国へ
要望することもある。

県

A市町村

B町村

C村

バラバラで行くより、
沖縄の声を一つにして
国に届ける。

だから
『やんばる知事室』
『宮古知事室』
『八重山知事室』。

やんばる知事室

宮古知事室

八重山知事室

知事が
現場の声を
聞く機会を
仕組みにする。

知事が、
離島に『聞くための
部屋』を持つ！

つなぐ仕組みが、沖縄の声を強くする。

2/3

第10話

聞いて、まとめて、沖縄をつなぐ

政策は、掲げるだけでなく実行まで動かす。

G.O.K.U



若手経営者同士の交流と
地域課題の共有

とびなは



職員と市民と一緒に学び、
アイデアを形にする場

すいまーいラン



首里のまちなかを走り、
歴史や人の温かさをつなぐ



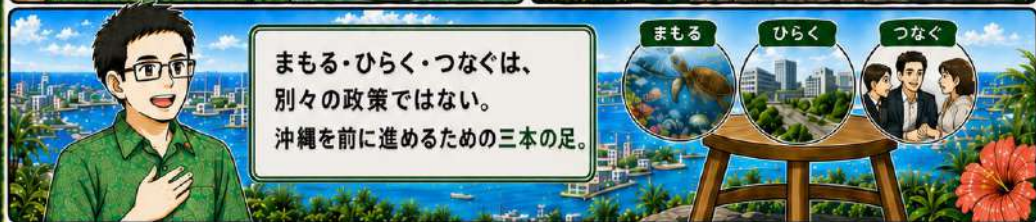
私は、
人と人をつないで、
化学反応を起こすことが
好きなんです。



政策は、
掲げただけでは
意味がない。
実行されなければ
意味がない。



聞く。
まとめる。
つなぐ。
動かす！



まもる・ひらく・つなぐは、
別々の政策ではない。
沖縄を前に進めるための三本の足。



次回

第11話

豊かな島なのに、暮らしが苦しい
未来の前に、いまを見る

後半ストーリー
のはじまり

3/3

豊かな島なのに、暮らしが苦しい

未来の前に、いまを見る

その疑問から、
未来の話を
始めたいんです。

沖縄は人気なのに、
どうして暮らしは
苦しいの？



にぎわいの向こう側



空港には人があふれ、
ホテルや観光地にはぎわっている。



それでも、レジ前で
ひとつ商品を棚へ戻す人がある。

毎日の暮らしを
応援！



にぎわいの向こうに、暮らしの苦しさ。

1/3

第11話

沖縄が抱える、3つの課題

数字の問題に見えて、毎日の暮らしの問題です。

県民所得



県民所得は**全国最下位**。

稼ぐ力



稼ぐ力も**全国最下位**。

未来への投資

道路の整備

港湾整備

公共交通の充実

上下水道の整備

デジタル基盤の強化

未来への投資は減り続けている。

働いても、物価の上昇に追いつかない。



売上が増えても、仕入れや燃料が高くて利益が残らない。



数字の問題に見えて、これは毎日の**買い物**、**給料**、**子育て**、**老後**の問題です。

未来の話の前に、いまの苦しさを見ないといけないんだね。



暮らしの苦しさが、未来の余裕を奪っている。

2/3

第11話

未来の前に、今日を守る

「いま」と「未来」を、一本の線でつなぐ。

今日を不安に思う人を
置き去りにした未来は、
未来とは呼べません。

未来の話なら、
明るい絵だけを見せた方が
よくない？



① まず暮らしを守る



物価高や生活不安から県民を守り、
安心して暮らせる毎日を支える。

② 次に稼ぐ土台をつくる

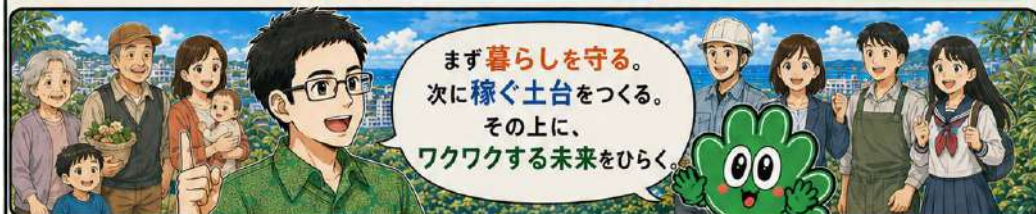


産業の力を育て、雇用を生み、
沖縄全体の稼ぐ力を高める。

③ その上にワクワクする未来をひらく



子どもたちの夢や挑戦を応援し、
誰もが希望を持てる未来をつくる。



後半の物語は、『いま』と「未来」を
一本の線でつなぐところから始まります。

守ることが、前へ進むはじまり。

次回

第12話

暮らしと命を、まもる

今の不安から県民を守り、未来の土台をつくる。

3/3

暮らしと命を、まもる

今の不安から県民を守り、未来の土台をつくる。

物価高、健康、
災害、平和と安全。
まずは今の暮らしを、
しっかり守ります。



① 物価高



クーポンなどの**給付**で、
苦しい家計を支える。

② 命と健康



医療・介護・福祉をつなぎ、
健康長寿を取り戻す。

③ 災害への備え



災害に強いインフラと備えて、
命を守る。

④ 平和と安全



日々の**安心**を守り、
基地負担の軽減も進める。

★**守ることが、前へ進む土台。**★

1/3

第12話

今の暮らしを、しっかり支える

物価高にも、命と健康にも、すぐ届く支えを。

値上がりが続いている…
お米 +24%
食用油 +22%
たまご +18%
キャベツ +15%
※当社は(隔年比)

物価高に苦しみ
世帯へ、クーポンなどの
積極的な給付を
進めます。

今日の
暮らしを、
まず守るん
だね！

家計の負担を軽くし、
安心して毎日を送れるようにする。

中小企業の賃上げも後押しし、
働く人の手取りを支える。

命と健康を、しっかり支える

医療・介護・福祉の
連携を進め、最先端の
技術も活用しながら、
沖縄の健康長寿を
取り戻します。

地域でつながる
支え合いの医療

命と健康を
守ることも、
大事な約束
だね！

予防

健診で
自分の未来を
守ろう！

生活習慣病の予防や健診の充実で、
病気になるににくい体づくりを。

早期発見

早期発見が
未来を守る！

がん検診や先進医療の活用で、
早期発見・早期治療につなげる。

離島医療

離島やへき地でも安心できるよう、
遠隔医療や巡回医療を強化する。

支える力が、暮らしの安心になる。

2/3

第12話

未来イメージ

災害にも、平和と安全にも備える

暮らしを守る土台を強くし、次の一歩へつなく。

自然災害の
リスクに備え、
災害に強いインフラと
地域の備えを進めます。

備えあれば
憂いなし。
みんなで
命を守る！



避難



避難所の充実や避難訓練の強化で、
迅速・安全に避難できる体制をつくる。



備蓄



飲料水・食料・医薬品などを備え、
いざという時に備える。



ライフライン



電力・水道・通信の強靱化を進め、
早期復旧できる仕組みをつくる。



平和の推進



平和の大切さを次世代に伝え、
沖縄から世界の平和に貢献する。



安全・安心の確保



地域の防犯力を高め、誰もが
安心して暮らせる地域社会をつくる。



基地負担の軽減



危険性の除去や土地の返還を進め、
基地負担の軽減を着実に進める。

危険の除去と
暮らしの安心を両立し、
未来へつなく。



守ることが、
次の挑戦に
つながるんだね！

守る力が、
前へ進む土台。

次回

約束① 手取りを、2倍にふやす

第13話

働いた分が、暮らしに返る島へ

3/3

第13話

公約をもとにした未来イメージ

約束① 手取りを、2倍にふやす

働いた分が、暮らしに返る島へ

1つ目の約束は、
『手取りを、
2倍にふやす』。



そのための大きな目安として、

一人当たり県民所得231.5万円を、500万円の水準へ引き上げる。

現在の一人当たり県民所得

231.5万円



目指す水準

500万円水準へ

県民所得って、
そのまま
一人ひとりの
給料なの？



同じでは
ありません。
県経済全体の
豊かさを示す
目安です。



目標は、
給料を増やし、
負担を減らし、
手元に残る
お金を増やす
ことです。



数字の目的は、暮らしのゆとり。



家計に
ゆとり



子育て・教育に
しっかり投資



安心できる
医療・福祉

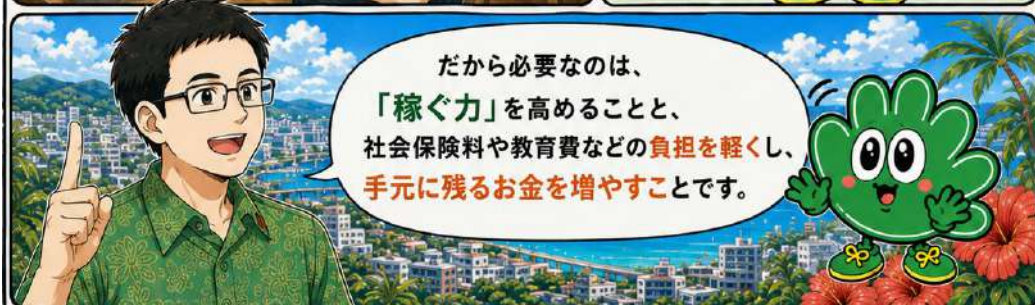


夢や挑戦が
できる島へ



1/5

なぜ今、手取りが苦しい？



課題は、給料だけでなく負担の重さ。

2/5

既存産業と先端技術を、稼ぐ力へ

観光、建設、農林水産業、医療、福祉。
沖縄を支える仕事の価値を、もっと高める。

観光



高付加価値の観光で、
地域の魅力を世界へ。

建設



生産性向上と人材育成で、
強く持続可能な業界へ。

農林水産業



スマート技術とブランドで、
高収益な一次産業へ。

医療・福祉



人材確保とIT活用で、
質の高いケアを未来へ。

中小企業のDX・AI導入を支え、
同じ時間でも、より高い付加価値を
生み出せるようにします。

新5K × OIST × スタートアップ

新5K



稼ぐ観光へ



創業やヘルスケア
産業の創出



再エネ・脱炭素で
成長する島へ



海の恵みを守り、
観光産業に
挑戦する島へ



起業が当たり前の
挑戦する島へ

OIST



世界トップ研究で、
イノベーションの拠点に。

スタートアップ



未来の産業を生み出し、
雇用と投資を呼び込む。

新5K、OIST、スタートアップ、民間投資。新しい仕事と産業も育てる。



新しい産業が、
働く人のチャンスを
広げるんだね！

技術は人を置き去りにするためではなく、
働く人がより稼ぎ、休み、
挑戦できるように使います。

稼ぐ力を高めることが、給料アップの土台。

3/5

お金と時間が、暮らしに戻る

賃上げが進み、
社会保険料や教育費の
負担が軽くなる。



社会保険料
の負担軽減

教育費の
負担軽減

定時定速の公共交通や、
分かりやすい乗り継ぎで、
渋滞に奪われる時間も減っていく。

乗り継ぎ
カンタン！



- ✓ 時刻が分かりやすい
- ✓ 遅れにくい
- ✓ 移動がスムーズ

給料だけじゃない。
家族と食卓を囲む
時間も増えた。



手取りって、
お金だけでなく、
時間のゆとりも
大事なんだね！

経済成長を、
数字の上だけで終わらせない。
働いた分が、給料と暮らしに戻る
沖縄へ。

お金と時間のゆとりが、
暮らしを変える。★



4/5

働いた分が、暮らしに返る島へ

手取りを増やすとは、
経済を大きくすることと、
暮らしの負担を軽くすることを
両方進めることです。

未来の話が、
毎日の生活に
つながってきたね！

働いた分が、給料と暮らしに
しっかり返る。
そんな**沖縄**を目指します。



手取りを2倍にふやすと、未来はもっと良くなる！

給料アップ



頑張りが入りに
しっかりつながる！

負担軽減



税や社会保障の負担が
軽くなって安心！

時間のゆとり



ムダな仕事を減らして、
家族や自分の時間が増える！

挑戦できる未来



夢や新しいチャレンジに
一歩踏み出せる！

働いた分が、暮らしに返る。
それが、みんなで作る**希望の沖縄**です。



一緒に、
未来をつくって
いこう！

次回

第14話

子育て支援を、2倍にふやす
夢を家計だけで決めない。

5/5

第14話

公約をもとにした未来イメージ

約束② 子育て支援を、2倍にふやす

夢を家計だけで決めない

2つ目の約束は、
『子育て支援を、
2倍にふやす』。



沖縄のこどもたちの未来のために、予算を大きくふやします。

県こども未来部の予算

552億円



1期4年で

1000億円以上へ



妊娠、出産、
保育、学校、
放課後まで、
切れ目なく
支えます。



保育料、教育費、
給食費の無償化を
進め、家計に残る
お金を増やす。

妊娠・出産



安心して子どもを
産み育てられる支援を
充実します。

保育



待機児童ゼロを目指し、
保育の質と環境を
さらに高めます。

学校



学びに集中できる
環境づくりと、教育費の
負担を軽減します。

放課後



放課後の居場所や
体験の機会を広げ、
健やかな成長を支えます。

数字の目的は、こどもと家族の安心。

1/5

制度だけでなく、支える人を守る

子どもを支える現場が、続けられるように。

保育士

預ける
場所があっても、
働く人が
足りません。

先生

子どもと
向き合いたくても、
仕事が多すぎる。

保育士の処遇と
配置を改善し、
教員の負担を
減らします。

支える人が
続けられないと、
子どもたちも
困るんだね。



家でも学校でもない『第三の居場所』、
ひとり親家庭、障がい児家庭への支援も続ける。

第三の居場所

放課後などに安心して過ごせる
場所を増やし、学びや体験、
つながりを支えます。

ひとり親家庭

経済的支援や相談体制を強化し、
安心して子育てと生活を
両立できるようにします。

障がい児家庭

一人ひとりの特性に合わせた支援と、
家族の負担軽減を図り、
共に育ち合える社会をめざします。

制度を作って終わりではなく、
現場で支える人が続けられる環境を
つくります。



子どもを支える人を、支える。

2/5

家でも学校でもない、安心の居場所

放課後の時間も、こどもの育ちを支える。

放課後に
安心して
過ごせる場所
がある。

遊び、学び、
体験、相談が
できる。

ひとりで
抱え込まなくて
いいんですね。

一人ひとりに
合わせた支援で、
安心を広げる。



見守り

安心して
過ごせるように、
やさしく見守ります。



相談

こどもも親も、
気軽に相談できる
環境をつくります。



体験

学びや遊びの体験で、
こどもの可能性を
広がります。

第三の居場所を広げ、
こどもも親も孤立しない
仕組みをつくります。

子どもも親も、
ほっとできるね！

孤立させない支援が、未来を支える。

3/5

島や家計を理由に、学びを諦めない

住む場所が違って、夢の入口をひらく。

高校のない
小規模離島から
進学する15歳には、
安心して暮らせる
学生寮を。



安心して学べる
住まいを支える。



学ぶ意欲には、
返済不要の給付型奨学金を。

給付型
奨学金



県内に薬学部を設置し、
医療を支える人材を育てる。



ママ、
これを習って
みたい。

うん。
やって
みよう。



住む場所や家計を理由に、
こどもの夢を諦めなくていい島へ。



学びたい気持ちを、止めない。

4/5

夢を家計だけで決めない

子どもも親も、安心して前へ進める島へ。

子育て支援を
2倍にふやすとは、
こどもと家族の不安を減らし、
挑戦できる毎日を
増やすことです。

子どもの夢も、
親の安心も、
どちらも大事だね！

子育て支援を2倍にふやすことで、広がる未来

① 切れ目ない支援



妊娠・出産から保育・学校・放課後まで、切れ目なく支え、すべての子どもの成長を応援します。

② 現場を守る



保育士や先生の待遇改善や人材確保を進め、安心して働ける環境づくりを進めます。

③ 学びを支える



奨学金の充実や離島の学生支援で、学びたい気持ちを応援し、未来の可能性を広げます。

④ 挑戦できる未来



文化・スポーツ・科学など、夢や興味にチャレンジできる機会を増やし、未来のリーダーを育てます。

夢を、家計だけであきらめない沖縄へ。

こどもも親も、安心して暮らし、挑戦できる島を、みんなでつくりまします。

次回

第15話

観光消費を、2倍にふやす
世界が来て、県民に還る島へ

5/5

第15話

公約をもとにした未来イメージ

約束③ 観光消費を、2倍にふやす

世界が来て、県民に還る島へ

3つ目の約束は、
『観光消費を、
2倍にふやす』



観光の力で、にぎわいと豊かさが県内に広がる未来を目指します。

沖縄県の観光収入
1兆747億円



2兆円へ



観光客を増やす
だけでなく、
一人ひとりが
満足し、価値ある
体験を持ち帰る
観光へ。



観光の価値を高めて、
消費を広げることが
県民の豊かさにつ
ながるんだね！

長く滞在



連泊したくなる
旅の魅力を高めます。

体験を深める



文化や自然を深く
味わう体験を
増やします。

リピーター



『また来たい』に
つながる満足を
育てます。

客単価アップ



食や買い物の魅力で
消費を広げます。

数字の目的は、県民の豊かさ。

1/5

第15話

公約をもとにした未来イメージ

量だけでなく、質を高める

『また来たい』が、県内で使うお金を増やす。

一人ひとりが、
深く楽しめる
旅へ。

長く滞在し、
満足度を
高めます。



文化や工芸を、
旅の魅力として磨きます。



地元の**食**を楽しむ時間が、
消費を広げます。



自然や体験を通じて、
滞在の満足度を高めます。

『また来たい』が、消費を育てる。

2/5

観光を、地域の仕事につなぐ

観光の利益が、県内に広がる仕組みへ。

観光のお金が、地域を回る。

仕事と所得が、県内に広がる。



ホテルだけで終わらず、
地元の食、工芸、
交通、商店街へと
つなげます。

観光の利益が、
地域に残るんだね！



地元の食



県産食材や飲食店への
波及を広げます。

工芸・文化



やちむんや
伝統文化の価値を
高めます。

商店街



まち歩きや買い物で、
地域のにぎわいを
つくります。

交通・体験



移動や体験も、
地域の仕事に
つなげます。



観光の成長を、
県民の所得アップに
つなげることが
大切です。



地域みんなが
元気になる
観光だね！

観光の利益が、地域に残る。

3/5

世界とつなぐ、沖縄の玄関口

海外とつながる
空の便を
強くする。

観光消費を高め、もっと豊かに。

『来たい』を
『来られる』に
変える。

世界から沖縄へ、
観光消費を高める
4つの方向性を
進めます！

観光消費を高める4つの方向性

1

海外航空路線



アジアに加え、欧米を含む
直行便を誘致する。
沖縄へ来やすい空の便を広げます。



2

MICE (国際会議・展示会・企業イベント)



国際会議・展示会・企業イベントを呼び込み、
平日需要と高付加価値の滞在を育てます。



3

リゾートウェディング



人生の特別な時間を沖縄で過ごしてもらい、
宿泊・食・写真などの消費にもつなげます。



4

クルーズ



港からまちへ人の流れをつなぎ、
寄港を地域のにぎわいへ変えていきます。



4つの方向性を相互に高め合い、観光消費を強化していきます。



来やすさの拡大
直行便の拡大で
来訪機会を増やす。



高付加価値の創出
人材育成と施入体備で
質の高い体験を提供。



長期滞在の促進
コンテンツとサービスで
広域周遊と滞在を促進。



地域連携の強化
地域連携で経済効果を
県内全体に拡大する。

観光消費を高め、沖縄の未来を豊かに。

4/5

世界が来て、県民に還る

観光が伸びれば、暮らしも前へ。

観光消費を
2倍にふやすとは、
県民の所得を増やし、
地域を元気にする
ことです。

世界が来て、
県民に還る
んだね！



観光消費を2倍にふやすことで、広がる未来

① 質を高める



深く楽しみ、長く
滞在する観光へ。

② 地域につなぐ



観光の利益を、
地元の仕事と所得へ。

③ 世界につなぐ



直行便やMICEで、
選ばれる沖縄へ。

④ 県民に還す



にぎわいと豊かさを、
暮らしに返す。

観光の成長を、県民の豊かさにつなぐ沖縄へ。



次回

第16話

沖縄を、前に。

暮らしを守り、未来を動かす。

5/5

第16話

まもる・つなぐ・ひらく 沖縄の未来へ

足元の暮らしを守り、その先の未来をひらく。

20年前、
沖縄のために働きたい。
そう思って、私は
行政の道に入りました。

現場で学び、
県や国の仕事に
向き合ってきた。

その中で見てきたのは、
暮らしの不安と、
沖縄の大きな可能性。

だから今、伝えたい。
まず今を守り、
その上で未来を
前に進めることを。

原点は、沖縄をもっと良くしたいという思い。

1/6

第16話

まず、暮らしと命を『まもる』

今困っている人を支え、将来の不安にも備える。

未来の前に、
まず今の暮らしを守る。



物価高

クーポンなどによる
給付で、暮らしを
下支えする。



健康

医療・介護・福祉を
つなぎ、健康長寿を
取り戻す。



災害

防災・減災を強め、
いざという時に
命を守る。



平和と安全

基地問題に向き合い、
危険性除去と
返還・跡地利用を
進める。



足元の安心が、
未来の土台になる。

安心があるから、次の一歩が踏み出せる。

2/6

第16話

県民の声を、県政へ『つなぐ』

聞くことを、一時の活動で終わらず、仕組みにする。

2月に副市長を
退任してから、
8月まで
41市町村を
自分の足で回った。



現場で聞いた声を、
県政のど真ん中に
届けたい。



宮古知事室

離島の声を、
もっと近くで聞く。



八重山知事室

島のニーズを、
常に県政へつなぐ。

聞くことを、
仕組みに変える。



声を集め、沖縄の力を一つに。

3/6

第16話

可能性を『ひらく』

守るだけで終わらない。挑戦できる沖縄へ。

守り、つなぐ。
その先で、沖縄の未来を
ひらいていく。



AI・先端技術



OIST・研究



観光・文化



食・地域産業



AIも、OISTも、
観光も、文化も、
沖縄には未来を
つくる種がある。

離島の挑戦



それを仕事や挑戦に
つなげ、若い世代の
チャンスを広げたい。



沖縄の魅力を、産業と希望に変える。

4/6

第16話

まもる・つなぐ・ひらくが、未来を動かす

安心の上に、挑戦できる毎日をつくる。

足元の暮らしが
安定する。その上で、
夢に挑戦できる。
そんな沖縄をつくりたい。

まもる

暮らし・命・健康を守る。



暮らしを支える



命と健康を守る



災害に強い備え

つなぐ

県民の声を県政へつなぐ。



対話で聴く



声を届ける



島々をつなぐ

ひらく

可能性を仕事と希望に変える。



未来を担う人材を育てる



文化と観光の力を活かす



産業を育て、挑戦を応援する

県民の安心と
ワクワク、
その両方を
前に進めたい。

安心の上に、ワクワクする未来を。

5/6

第16話

自分の人生を、沖縄のために

県民の声を胸に、沖縄をもっと前へ。

2月に副市長を
退任してから、この8月まで、
41市町村を自分の足で回り、
たくさんの県民の声を聞き、
応援してもらってきました。

その一つひとつの声が、
私の背中を
押してくれました。

その力を胸に、
自分の人生を
沖縄のために
使いたい。

暮らしを守る。
声をつなぐ。
未来をひらく。
沖縄を、前に！

その思いで、
最後まで
やり抜こう！

決意は、沖縄の未来のために。

6/6

最後に 沖縄を、前に!

沖縄全土を巡り、
たくさんの人に会う中で、
今の沖縄の課題と
可能性が見えてきました。

その声をもとに、
実行する**120**の
政策にまとめたんだね!



県民の声から見てきた課題と未来への答えを、**120の政策**にまとめました。

01



暮らしをまもる、
明日に希望が持てる
社会の実現(9)

02



沖縄独自の魅力を生かした
多様な産業の発展と“人”が
輝く経済の実現(21)

03



それぞれの地域、
それぞれの島が輝く
地域振興(11)

04



県民にも観光客にも
優しく使いやすい
インフラ整備(13)

05



日本一子育てに
やさしい
島づくり(17)

06



これからの沖縄の未来を
担う人材育成(10)

07



沖縄健康長寿復興
プロジェクトの推進(11)

08



県民の安心・安全
を守る(11)

09



二度と沖縄を戦場にしない
平和な沖縄の維持と
基地負担の軽減(9)

10



沖縄を
ひとつにつなぐ
実行力の最大化(8)



120の政策は
HPにも掲載しています



古謝げんたの
YouTubeでも
ご覧いただけます



詳しくは、
HPとYouTubeで
チェックして
ください!

ぜひご覧いただき、
沖縄の未来と一緒に考えてください。

